

# いっせーのせ

VOL.  
06

発行 長坂ふれあいのまちづくり協議会・神戸学院大学ボランティア活動支援室

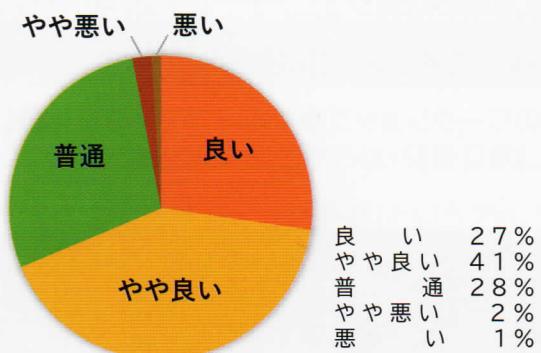
みなさん、ご回答ありがとうございました

前号に記載しました「いっせーのせ防災マップ」に関してアンケートを取ったところ、99名の方にご回答いただきました。ありがとうございました。

今回のアンケートでは、ハザードマップの評価を5段階で評価していただきました。その結果が右のグラフになります。大半の方が「やや良い」以上に投票していただいているので、作成者一同うれしく思っています。

「悪い」や「やや悪い」に投票した方に、ワンランク評価を上げていただけるように、尽力していきたいです。またハザードマップの感想や意見、改善点も回答していただきました。

## 〈ハザードマップの評価〉



写真の配列、避難経路や迂回路の案内などを下にまとめてはどうでしょうか？



地図の範囲を広げてほしい。



神戸学院大学は避難場所にならないのか？



避難時に必要な物はなに？



家族と話し合おうと思う。

たくさんの視点から、貴重な感想や意見をいただき、改善点がはっきりと見えたことは、次につながるいい機会となります。

前号でお披露目したハザードマップは、これまで長坂地域の方々や講師の諏訪清二先生(現代社会学部社会防災学科講師)などに協力していただきました。この場をお借りして、感謝申し上げます。

今後、「いっせーのせ防災マップ」を手に取り、見ていただく方々にとって、万が一に備えた、安心して安全に非難ができるハザードマップとなるように改善していきます。

今後とも、どうぞよろしくお願ひ致します。

# 2022年夏休み 小学生と中学生と大学生が学び合う

## 体験的に防災を学び合う

2022年8月21日、神戸学院大学有瀬キャンパスのマナビーホール(大学会館4階)にて、小・中学生を対象にした「Let's 防災キャンプ」を行いました。

長坂地域の防災ジュニアチームや近隣の学校などから約20人の小・中学生が参加して、大学生が企画した防災のワークショップやグループワークを体験しました。



スライドを見ながら防災の説明をする大学生

午前中は先ず緊張を和らげるために自己紹介(隣の人を紹介するゲーム)を行い、初対面の大学生と小・中学生がお互いを知り、距離を縮めました。その後、「明日災害が起きたらどうする」というテーマで、まずは一人で対策を10個書き出し、その中から有効な対策をみんなで話し合ってピックアップするワークショップを行いました。防災は知識だけではなく実際に行動することが大切であることを一緒に考えました。

お昼は災害時の食について大学生が小・中学生に説明し、非常食を実食しました。

午後の最初のプログラムは牛乳パックを使って建物の耐震について考えるワークショップを行いました。

このワークショップでは、輪切りにして二つ重ねた牛乳パックを建物に見立て、どう補強したら強い建物になるのか子ども達と一緒に考え、地震で人的被害が出るのは地震そのものではなく、壊れた建物が原因であることを学びました。

次に、災害時の心のケアについて、心と身体を落ちさせるストレッチを通して一緒に学びました。

そして最後に、今回の防災デイキャンプで学んだことを活かして、この夏休みの間に実践したいことをアクションプランとしてまとめました。

## 参加した子ども達の感想は

子ども達からは、「明日災害が起きたら今を大事にしたい」「耐震を考えた製作で、具体的に家を建てる時のチェックが心に残った」「心のケアも必要だと思った」「非常食が案外美味しいくてビックリした」という感想をいただきました。保護者の方からも、「災害について家族で話し合う機会になって、とても良かった。子ども達が楽しく学んで、しっかり伝えてくれたことに感動した」という感想を頂きました。



もし災害が起こったら...どんな行動を取るか書き出してみた

# Let's 防災キャンプ 開催したよ

## 大学生の成長の機会となった

私は今回の防災キャンプで建物の耐震についてのワークショップを担当しました。

柱や梁を増やしたり、壁を作ったり、筋交いや火打ちといった補強方法を子ども達がそれぞれ自分で考え辿りつく様子に、子ども達の発想力の凄さを感じました。



話し合いに積極的に参加する子ども達

また、今回全体の副リーダーをさせていただきました。それぞれのプログラムの担当者の視点とは違い、全体の視点を持って臨機応変に対応していくのもとても大変でした。私自身、視野が狭くなってしまうタイプなので、とても良い経験になりました。

## 今後に向けて

アドバイザーの諏訪清二先生からは「何を目的に授業をしているのか意識することが重要」というアドバイスを頂きました。

今回、初めての防災キャンプということで、正直とにかくプログラムを回すことで大学生側は精一杯でした。

今後、防災授業やキャンプをする際は目的を重きに置いて実施していきたいと思います。

〈原稿:現代社会学部2年次生 青木翔佑〉



## 災害時のライフハック パッククッキング

災害時のライフハックとして使えるパッククッキングを紹介します。

パッククッキングとは耐熱性のポリ袋に食材を入れ、袋のまま鍋で湯煎する調理方法です。メリットは、普段の食品が使えること、加熱に使った水が汚れない、洗い物が無くなるなど日常の調理の時短テクニックとしても使える方法です。

パッククッキングではカレーやケーキなど様々な料理をポリ袋に入れて加熱するだけで簡単に作ることができます。またこの方法以外にも、ポリ袋を使って缶詰やパウチ食品を入れて混ぜるだけでサラダなどを作ることができ、工夫をすることで非常時の食を豊かにすることができます。

いずれも簡単に活用ができますので、日頃から家庭で実践いただき、非常時に備えていただければと思います。

「神戸市環境局 パッククッキング」で検索！ いろんなメニューがあります



# 神戸学院大学大学祭2022を開催いたします

11月3日(祝)・4日(金) ポートアイランドキャンパス

11月5日(土)・6日(日) 有瀬キャンパス

さまざまな催しを用意しています。ぜひ、地域の皆様にご来場いただき、一緒にお祭りを盛り上げていただきたいです！！！

詳しくは→ <https://kobegakuin135fes.jp/> または「神戸学院大学大学祭2022」で検索！

## ボランティア活動支援室は大学祭で物産展を出展！

神戸学院大学では、東北や熊本などの被災地支援ボランティアを継続してきました。このような現地での直接的な支援活動だけでなく、「何か神戸からでもできることはないか」「何か役に立てるようなことができるのではないか」と考え、2012年から被災地応援物産展を開催しています。

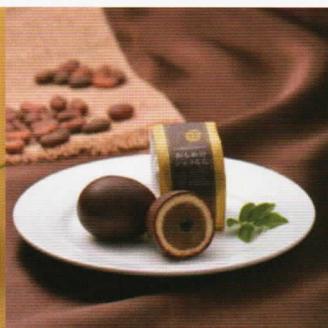
「被災されたのは個人だけでなく企業も被災している」との考えのもと東日本大震災や熊本地震で被災した企業から商品を取り寄せ、被災地の現状を神戸の人達に伝えながら販売します。

販売して得た利益は、被災地への募金や今後の復興支援活動の運営資金等に使用させていただきます。場所は神戸学院大学有瀬キャンパス14号館エントランスで行っております。

また、今年は3年ぶりに宮城県石巻市のB級グルメ、「石巻焼きそば」も調理・販売いたします。



かもめの玉子ばなちょ



かもめのショコラん



仙台名物 笹かまぼこ



いわき銘菓 ダイヤモンドリング



石巻焼きそば



学祭の物産展の様子



からし蓮根チップス

### 地域と大学をつなぐ防災情報誌

#### 『いっせーのせ』VOL.6

発行 2022年10月20日

発行者 長坂ふれあいのまちづくり協議会

神戸学院大学ボランティア活動支援室

連絡先 〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518

神戸学院大学 ボランティア活動支援室

T E L 078-974-1551(大学代表)

E-mail kgu-vc@j.kobegakuin.ac.jp